

■ 水道事業の将来像・10年後のあるべき姿

○水道事業の将来像

私たちが考える理想的な水道は、「河内長野市を支え続ける安心水道」であり、このような水道を実現するための「安心水道プラン」として、いつでも「安全」で安心できる水道、災害に強い「強靱」でしなやかな水道、健全で効率的な事業を「持続」できる水道を実現します。

○10年後のあるべき姿

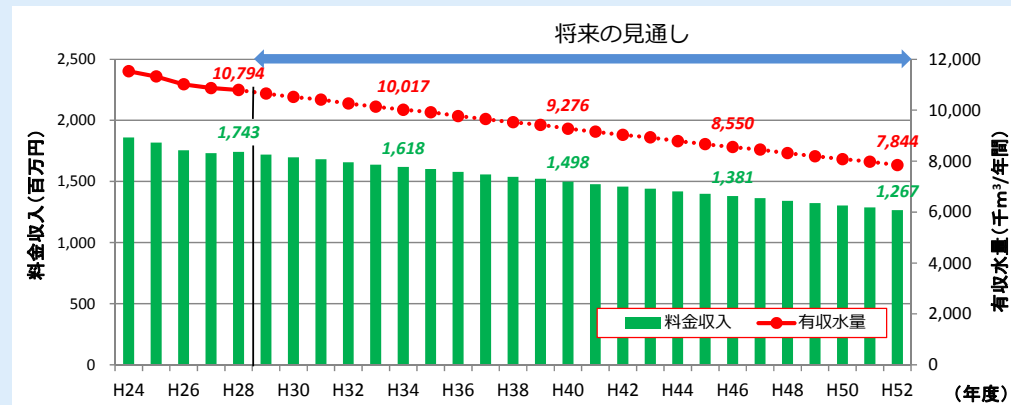
【安全】水質管理体制の強化と安定した水道水源の活用を図り、より安全でおいしい水道水を市民の皆様にお届けします。

【強靱】水道施設の機能維持に努める他、地震等の災害に対する備えを強化し、事故・災害等による影響を最小限に抑えます。

【持続】より盤石な財政基盤と技術基盤のもとで、効率的かつ健全な水道経営を行います。

■ 有収水量の見通し

有収水量及び料金収入の実績と将来の見通し



・有収水量は、節水機器の普及や人口減少の影響により減少傾向であり、平成40年度には平成28年度のおよそ15%減となる。

■ 投資の方向性

○大阪広域水道企業団からの第2分岐受水に向けた取り組み

■西之山配水池等の施設整備

- ・河南地域送水システムの一翼としての機能
- ・日野浄水場を活用した水運用
- ・西之山第1～第3配水池の集約（配水池の耐震化）

■浄水施設の統廃合

○日野浄水場の更新

■中長期的視点に基づいた施設の計画的更新

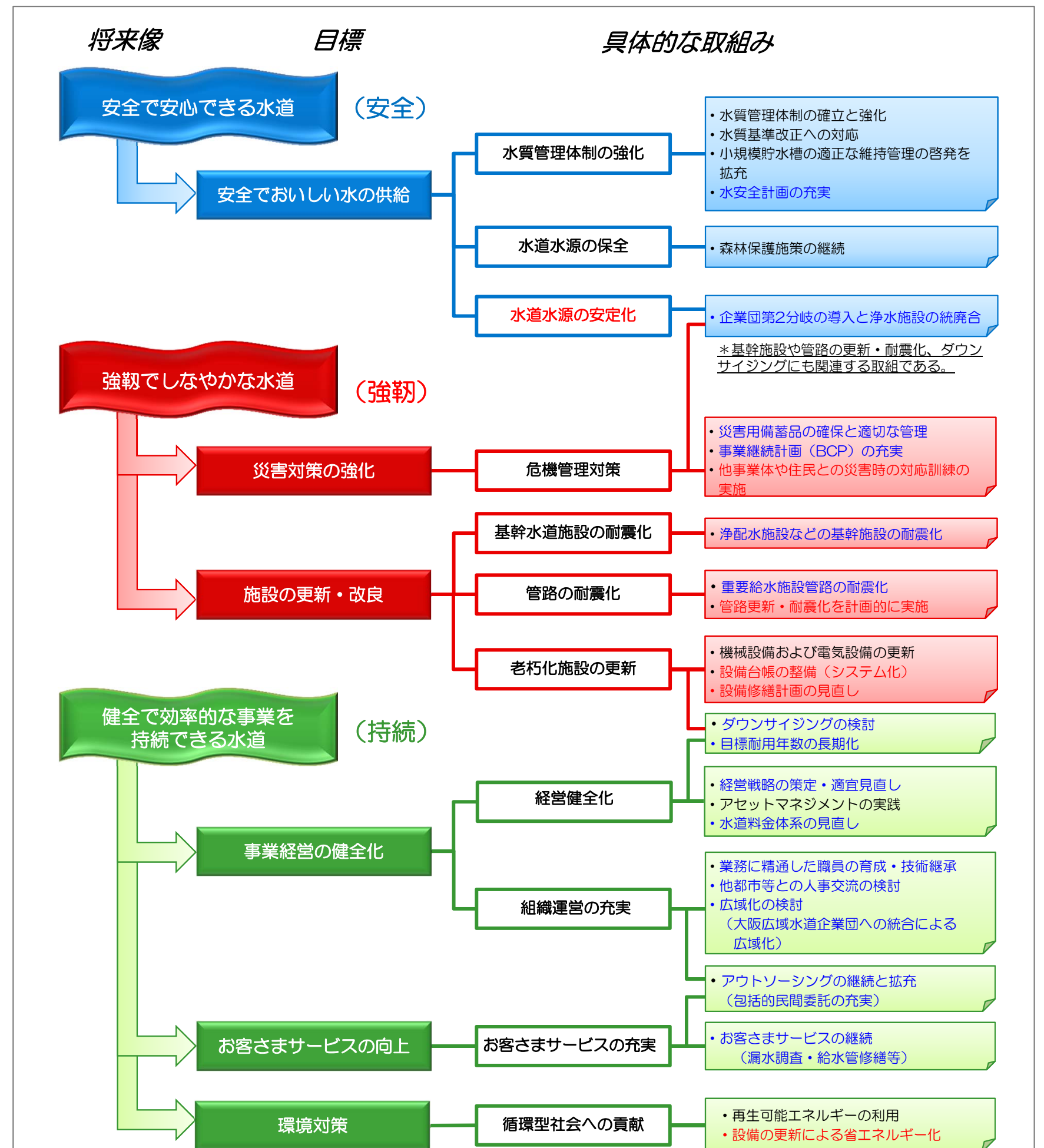
○施設・設備の更新

- ダウンサイジングを基本とした老朽化施設・設備の更新
- 更新基準年数に基づいた電気設備の計画的更新
- 適正な維持管理による機械設備の長寿命化

○管路の更新・耐震化

- 重要給水施設管路の優先的な耐震化
- 更新優先度評価に基づく計画的更新

■ 施策体系図



■ 下水道事業の将来像・10年後のあるべき姿

○ 下水道事業の将来像

私たちが考える理想的な下水道は、「河内長野市を支え続ける安心下水道」であり、このような下水道を実現するための「安心下水道プラン」として、「快適な生活環境」を提供する下水道、「安全で安心」な下水道、健全で効率的な事業を「持続」できる下水道を実現します。

○ 10年後のあるべき姿

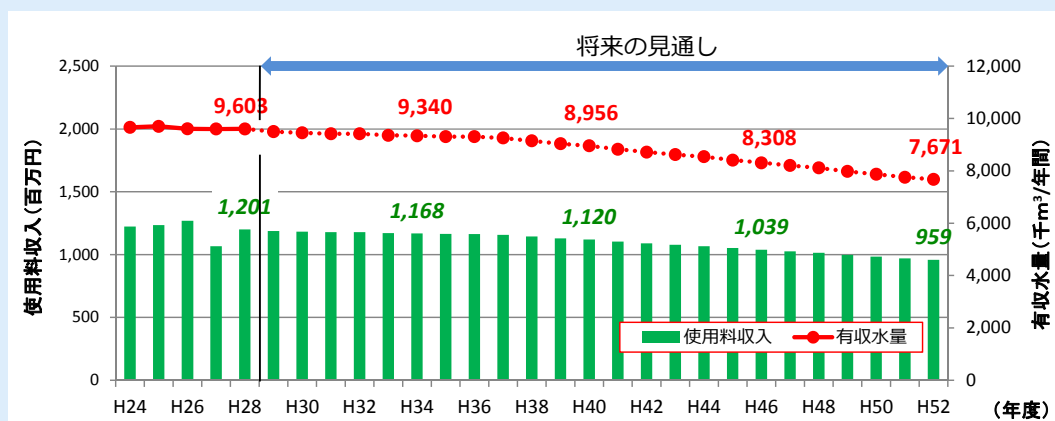
【快適な生活環境】污水管渠や浄化槽の整備を図り、より快適な生活環境を全市民の皆様にお届けします。

【安全・安心】下水道施設の機能維持に努める他、地震・浸水等の災害に対する備えを強化し、事故・災害等による影響を最小限に抑えます。

【安定・経営基盤の強化】より盤石な財政基盤と技術基盤のもとで、効率的かつ健全な下水道経営を行います。

■ 有収水量の見通し

有収水量及び使用料収入の実績と将来の見通し



・有収水量は、未普及地域の整備を推進し普及拡大に努めることにより、普及率・水洗化率とも向上するが、それ以上に人口減少の影響が大きく、有収水量は、平成40年度には、平成28年度と比較するとおよそ7%減少する見通しである。

※下水道普及率の向上により、水道よりも減少率は小さくなる。
・汚水処理に係る適正な公費負担のあり方（市独自の繰入基準の明確化）

■ 投資の方向性

○ 汚水処理の整備

- 生活排水処理計画に基づいた污水管渠・市設置型浄化槽の整備
- 汚水処理の最適化（事業の進捗に応じた見直し）

○ 管路の長寿命化・耐震化

- スtockマネジメント計画に基づいた管路の計画的改築・更新
- 重要管路の優先的な耐震化

○ 機械・電気設備の長寿命化

- スtockマネジメント計画に基づいた設備の計画的改築・更新

○ 浸水対策の実施

- 浸水シミュレーションに基づく内水ハザードマップの作成から活用

○ 不明水防止対策の実施

- 管路の改築・更新に併せた効率的な不明水対策の実施

■ 施策体系図

